授業アイデア・中学校

語順ボックスで、小学校の「言えた」を「書けた」に

「だれが・する」を土台に、「何を・どこで・いつ」を必要に応じて箱に足していくと、文がぐっと書きやすくなります。

中1　15分　話すこと[発表]・書くこと

次期学習指導要領とのつながり



語順を意識して書く　小中接続　コミュニケーション活動を支える活動

資料編では、小学校では音声に十分慣れ親しんだ語句や表現を書き写したり、例となる文を参照しながら書いたりすることまでにとどめていることを踏まえ、中1では文構造（語順）を意識しながら書くよう丁寧に指導することが示されています。
審議まとめも、小学校で日本語と英語の語順の違いへの気付きを促し、中学校の文法指導につなげる流れを示しています。小学校で言えていた自分のことを語順の枠に

入れて書き直すと、「言える」と「書ける」の間の段差を小さくできます。

P281 資料(外⑲)P19 資料(外㉑)P21

ねらい

自分のことを伝える文を、語順を意識して「だれが・する」を土台に、必要に応じて「何を・どこで・いつ」を加えて組み立てて書くことができる。

準備するもの

- 語順ボックス（色分けした5つの箱：だれが／する／何を／どこで／いつ。「何を・どこで・いつ」は必要なときだけ使う箱）を印刷したワークシート
- 先生の例文カード

手順

① **先生が週末の過ごし方を話し、生徒は聞き取ったことを日本語で言います。** 3分

> I play tennis in the park on Sundays. I watch movies at home on Saturday nights.
> 日曜日は公園でテニスをします。土曜日の夜は家で映画を見ます。

② **先生の文を語順ボックスに入れて示し、日本語の「日曜日に・公園で・テニスを・します」と順番を比べます。「英語は『する』が早く出てくる」「場所と時は後ろ」など、生徒の言葉で確かめます。I swim. / I go to the park. のように、「何を」の箱を使わない文もあることを示し、空いている箱があってもよいことを伝えます。** 3分

> Where does 'play' go? Near the beginning or at the end?
> play はどこに入るかな。初めのほう？それとも最後？

③ **生徒は自分の休日の過ごし方について、まず口で言ってみてから、語順ボックスに語を入れて書きます。分からない語は先生に聞くか、辞書で調べます。** 5分

④ **ペアで書いた文を読み合い、相手に一つ質問します（Do you play it every Sunday? / Who do you play with? など）。答えを聞いて、自分の文を一つ付け足します。** 4分

> Ask your partner one question. Then add one more sentence.
> 相手に一つ質問しよう。そのあと、文を一つ付け足そう。

評価（見取り）のポイント

【知識・技能】選んだ動詞に合う語順で文を組み立てて書いているか（「だれが＋する」のあとに、必要な「何を・どこで・いつ」を英語の語順で加えているか）を、ワークシートで見取ります。すべての箱が埋まっているかどうかは問いません。誤りが多い場合は、全体で同じ枠を使ってもう一度確かめます。

うまくいくコツ・アレンジ

- 「主語」「動詞」などの文法用語は、生徒の理解に合わせて後から結び付けます。最初は「だれが」「する」で十分です。
- 小学校で使っていた表現（I like ～. / I play ～.）から始めると、安心して書き始められます。
- ボックスの色を、教室の掲示や板書でも同じにしておくと、学年を通して使えます。

アレンジ

- 小6では、語順ボックスに単語カードを置いて言う活動にし、書き写しで終えます。

- 中2以降は「どうして」の箱（because ～）を加え、理由を付けて書く活動に発展させます。

ワークシート（印刷できます）

このページを印刷

ワークシート：Word Order Box（語順ボックス）

Say it first, then write in the boxes. / まず声に出して言ってから、箱に入れて書きましょう。「何を・どこで・いつ」は、必要な箱だけ使えばOKです。

1. だれが ｜ する ｜ 何を ｜ どこで ｜ いつ

_____

2. 例：I ｜ play ｜ tennis ｜ in the park ｜ on Sundays. ／ I ｜ swim ｜ ー ｜ ー ｜ on Saturdays.

_____

3. 1. I ｜ _____ ｜ _____ ｜ _____ ｜ _____ .

_____

4. 2. My _____ ｜ _____ ｜ _____ ｜ _____ ｜ _____ .

_____

5. ペアからの質問と、わたしの答え：_____

_____

Name: _____ Class: _____ No.: _____

ほかのアイデア

小学校で言えた単語、書けるかな？音と綴りの橋渡し
相手に合わせて選ぶ！町のおすすめグルメ紹介
スクリーンタイム、わたしたちのルールは？
AIの例文をうのみにしない！「好き」で例文づくり
Can you～？は質問？お願い？おさそい？
覚え方を変えれば忘れにくい！単語の学び方実験
「いただきます」を英語で説明できる？

※ 次期学習指導要領は告示前です。審議まとめ（2026年10月5日）の方向性をふまえた原田英語.comのオリジナルのアイデアです。